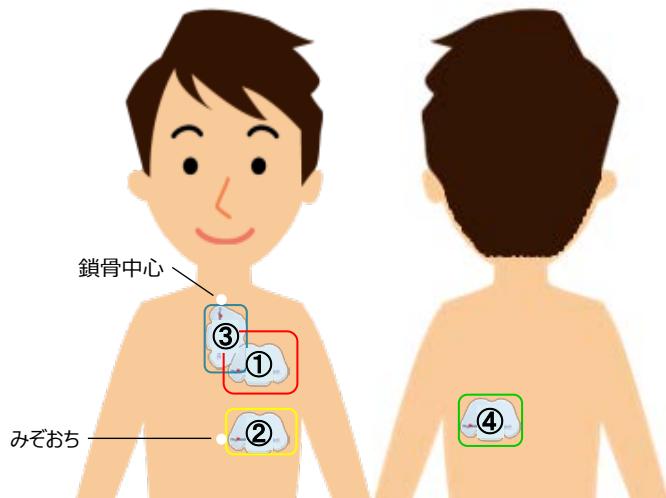


センサおよび電極の装着位置

(myBeatセンサは以下記載の電極を装着の上ご使用ください。)

◇ 電極パッドの場合(単回使用)



- ①左胸部上
身長170cm以上 鎖骨中心位置より 100mm下
身長170cm以下 鎖骨中心位置より 80mm下
上記をパッドの電極部の高さの目安にしてください。
- ②左胸部下
パッドの電極部をみぞおちと同じ高さにします。
- ③鎖骨下
パッドの電極部が縦に並ぶよう、センサを横向きにして装着します。
- ④左胸部背面
左脇腹近くで、パッド全体があばら骨にかかる高さに装着します。

※①や②で心拍測定できない場合や、計測状態に制限がある場合に、③または④をお試しください。
※③および④は、3軸加速度の軸方向や心拍波形が変わるため、測定結果にご注意ください。



販売名 myBeatディスプレイザブル電極
(製品コード 860-0019)
医療機器届出番号:
13B2X10190000002
一枚型ディスプレイザブルタイプ



販売名 ブルーセンサーSP-00-S/50
(製品コード 860-0026)
医療機器届出番号:
13B2X00117000001
製造販売業者 株式会社メッツ
二枚一組型ディスプレイザブルタイプ

◇ ベルト電極の場合



センサをベルトの外側に向け、みぞおちの位置に装着します。

※ベルトをきつく締めすぎず、かつ、ジャンプや身体をひねる動作をしてもズレ落ちない適度なサイズに調整してください。きつく締めすぎたりゆるすぎたりするとすり傷を負う可能性があります。

※周りに人やモノがないことを確認してから装着してください。

製品名 myBeat ベルト電極 型式: UER-MB
(製品コード 860-0052)
繰り返し使用可能



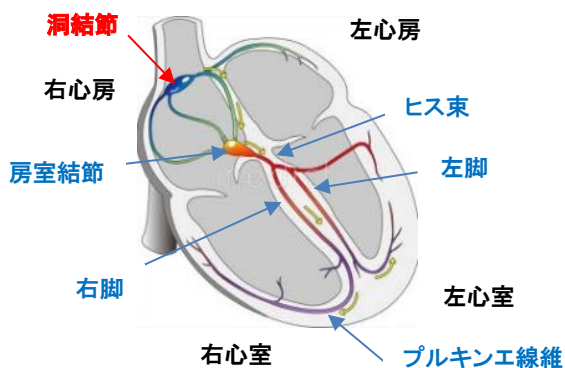
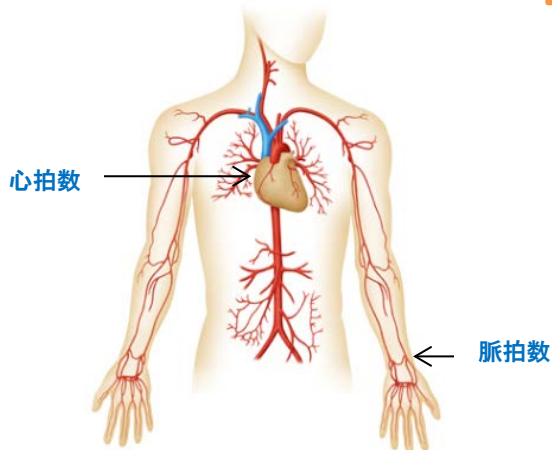
**適正な装着位置は個人差があるため、
心拍波形を見ながら位置を確認することが有効です。**

製造販売業者
ユニオンツール株式会社
〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-1

心拍数と脈拍数の違い

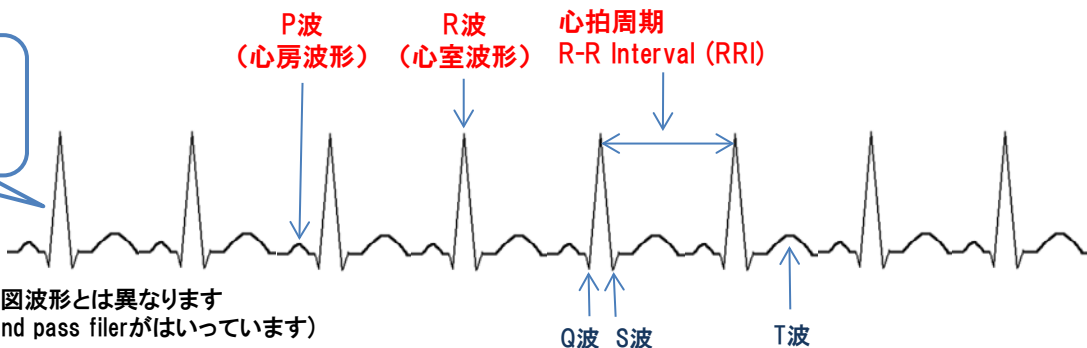
ユニオンツールの心拍センサは洞結節の興奮で起こる電気信号から得られる正確な心拍数を検出します(RRIの逆数が心拍数)

＜ 心臓の電気信号の伝わり方 ＞
洞結節 → 房室結節 → ヒス束 → 脚(左・右) → プルキンエ線維



当社のmyBeat心拍センサで取得するデータはこちら

心拍波形
(電気信号から)
※心拍波形は心電図波形とは異なります
(R波検出のためBand pass filterがはいています)



脈波形
(血液の流れから)



	ユニオンツール製	他社製
製品	心拍センサ(WHS-1, WHS-2)	腕時計タイプのウェアラブルウォッチなど
測定数値	心拍数 (心臓が全身に血液を出す際の拍動の回数)	脈拍数 (全身の動脈に生じる拍動を測定したもの)
測定部位	心臓	手首、指、耳など末梢部位
測定精度	高い 心臓が拍動した正確な電気信号	低い 発汗時や激しい運動で精度が落ちる
測定データ	保存が可能であり、データからアルゴリズムなどの開発が可能	端末にて測定数値の閲覧のみが可能 *機種により異なる場合もあります
メリット	心拍周期(RRI)から自律神経の測定が可能	装着や測定が容易
デメリット	体に電極の装着が必要 (使用目的によってはデメリットとはならない)	ファームウェアで表示補正をしているので 正確な脈拍数とは限らない、RRI検出不可

掲載資料に関するお問い合わせ

ユニオンツール株式会社

開発部 長岡開発課

TEL: 03-5493-1020 FAX: 03-5493-1014